

# 2020年度決算説明会

(2020年4月～2021年3月)

開催日：2021年6月1日  
(東京都文京区小石川一丁目28番1号)

ジオスター株式会社

# 目次



1. 2020年度決算概要(P3~P13)
2. 2021年度業績予想(P14~P16)
3. 参考資料(P17~P28)

# 1. 2020年度決算概要



- ・2020年度の事業環境・・・・・・・・・・P4
- ・2020年度決算の概況・・・・・・・・・・P5
- ・連結決算概要・・・・・・・・・・P6
- ・受注高・受注残の推移・・・・・・・・P7
- ・連結貸借対照表概要・・・・・・・・P8
- ・連結主要経営指標・・・・・・・・P9
- ・キャッシュフロー計算書概要・・・・P10
- ・設備投資・減価償却の推移・・・・P11
- ・2020年度・期末剰余金の配当・・・・P12
- ・配当金の推移・・・・・・・・・・P13

# 2020年度の事業環境



## 【土木事業】

- 公共投資は底堅く推移しており、先行きについても関連予算の執行による効果が期待される。

但し、以下の点は注視が必要である。

- 東京外かく環状道路工事現場付近での地表面陥没事故に伴う出荷遅れ。
- 新型コロナウイルス感染症を原因とする工事の中断懸念。

# 2020年度決算の概況



大型セグメントに留まらず中小セグメント、土木製品等の新規受注ならびに生産の積み増しに努めると共に、徹底した原価低減を行い収益力向上に努めました。

なお、福岡工場が拠点とする九州地区は、鉄道・幹線道路向け需要が減少し、当面の収益確保が見通せないため、減損損失を計上しました。

## ●リニア中央新幹線向けRCセグメントの生産本格化

- ・2019年7月からの東松山工場での第一首都圏トンネル向けRCセグメントの生産開始に続き、2020年11月から第一中京圏トンネル向けRCセグメントを金谷工場で生産開始。

## ●土木製品需要

- ・土木製品の新規受注ならびに生産の積み増しに努めると共に、徹底した原価低減を行い収益力向上に努める。

# 連結決算概要



(単位:百万円)

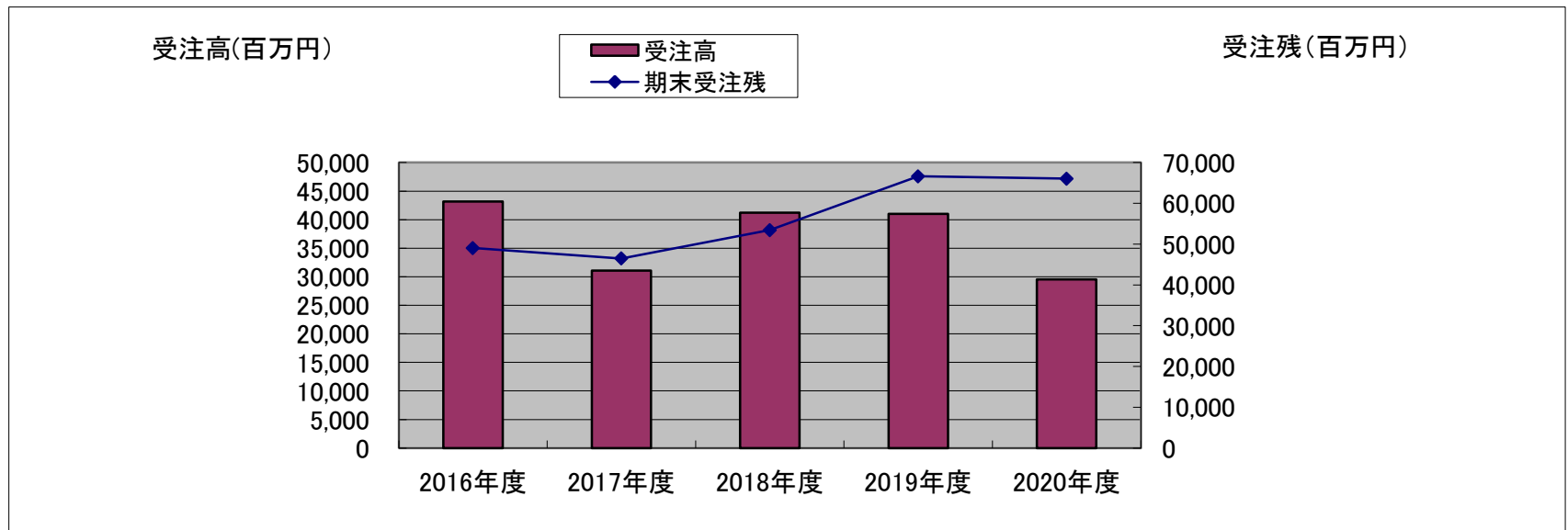
	2019年度 実績 A	2020年度 実績 B	前期比 C=B-A	増減率 C/A	2020年度業績予想公表値			
					2020年 5月15日	2020年 9月4日	2021年 2月25日	2021年 4月28日
売上高	27,832	30,149	2,316	8.3%	30,800	30,900	29,900	30,149
営業利益	1,403	1,764	361	25.7%	800	1,100	1,400	1,764
経常利益	1,413	1,778	364	25.8%	800	1,100	1,400	1,778
親会社株主に帰属 する当期純利益	528	891	362	68.6%	500	740	570	891
配当(円)	中間	-	-	-	未定	0.00	0.00	0.00
	期末	5.00	8.50	3.50	未定	未定	5.50	8.50
	年間	5.00	8.50	3.50	70.0%	未定	未定	5.50

# 受注高・受注残の推移



(単位:百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
受注高	43,152	31,097	41,219	41,010	29,556
期末受注残	49,034	46,491	53,444	66,621	66,028



# 連結貸借対照表概要



(単位:百万円)

科 目	2019 年度	2020 年度	増減額	科 目	2019 年度	2020 年度	増減額
	A	B	B-A		A	B	B-A
現預金同等物	1,766	4,867	3,101	長短借入金	1,250	1,250	-
受手・売掛金	7,086	7,628	542	支手・買掛金・未払	6,724	7,076	352
たな卸資産	8,378	8,259	△ 119	その他	2,605	4,006	1,400
未収入金	3,079	2,401	△ 678				
その他	279	168	△ 111	負債合計	10,579	12,332	1,752
流動資産合計	20,590	23,324	2,734	自己資本	19,569	20,585	1,016
有形固定資産	8,276	7,659	△ 616	その他有価証券 評価差額金	188	420	232
投資有価証券他	1,282	1,933	651				
固定資産合計	9,558	9,593	35	純資産合計	19,569	20,585	1,016
資産合計	30,148	32,918	2,769	負債純資産合計	30,148	32,918	2,769



# 連結主要経営指標



	2019年度	2020年度
自己資本当期純利益率 ( R O E )	2.7%	4.4%
総資産経常利益率 ( R O A )	4.5%	5.6%
売上高営業利益率	5.0%	5.9%
D/E レ シ オ	0.06倍	0.06倍
自己資本比率	64.9%	62.5%
有利子負債残高	1,250百万円	1,250百万円
期末総資産	30,148百万円	32,918百万円
期末自己資本	19,569百万円	20,585百万円

# キャッシュフロー計算書概要



2020年度は当期純利益及び減価償却費、その他営業キャッシュフローによりフリーCF32.6億円の収入となり、現金同等物は31億円増加し、48.6億円となる。

(単位:百万円)

	2019年度 A	2020年度 B	増減額 B-A
税金等調整前当期純利益	772	1,285	512
減価償却費	916	687	△ 229
減損損失	-	470	470
法人税	△ 1,240	-	1,240
その他営業キャッシュフロー	△ 226	1,287	1,514
投資キャッシュフロー	△ 905	△ 463	441
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>△ 683</b>	<b>3,268</b>	<b>3,951</b>
借入金等 返済・調達	14	-	△ 14
支払配当	△ 453	△ 157	296
その他	△ 17	△ 9	7
<b>現金同等物 増減額</b>	<b>△ 1,139</b>	<b>3,101</b>	<b>4,240</b>
現金同等物 期首残	2,905	1,766	△ 1,139
現金同等物 期末残	1,766	4,867	3,101

# 設備投資・減価償却の推移



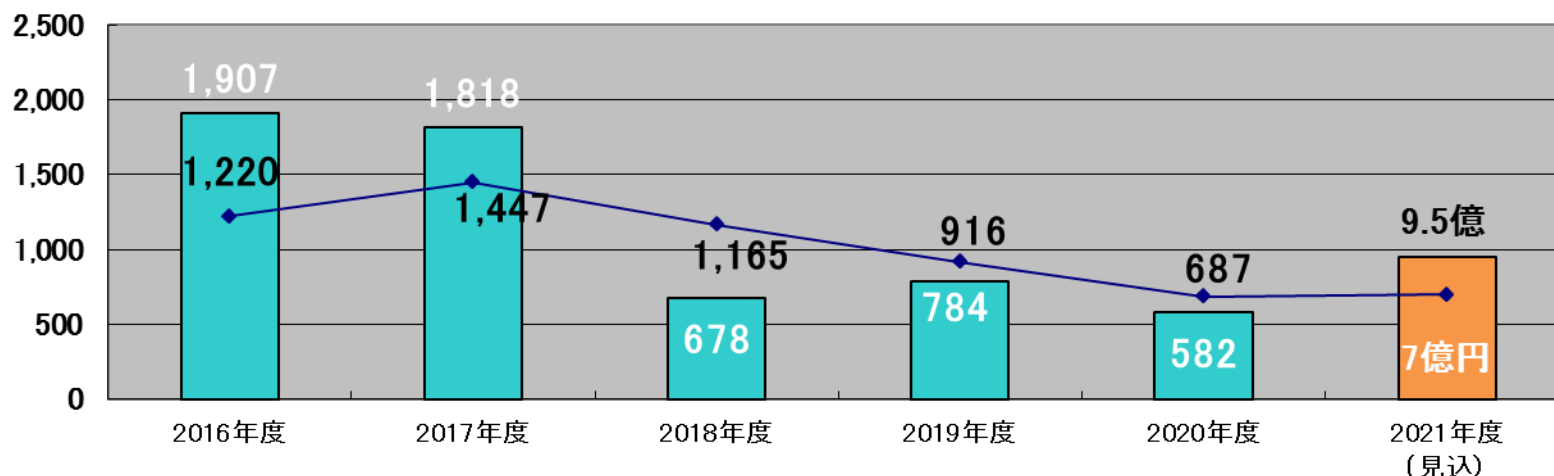
2020年度は、5億82百万円の設備投資を実施いたしました。その主なものは、金谷工場のプロジェクト対応による設備投資となります。

(単位:百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 (見込)
設備投資	1,907	1,818	678	784	582	9.5億円 程度
減価償却費	1,220	1,447	1,165	916	687	7億円 程度

(単位:百万円)

■ 設備投資 ◆ 減価償却費



# 2020年度・期末剰余金の配当



## 【利益配分に関する基本方針】

株主の皆様への利益還元方針をより明確化する観点から、2020年度の剰余金の配当から、利益配分に関する基本方針を見直し以下のとおりといたしました。

当社グループは適正な利潤の確保に努め、健全な発展と永続性を目指し、収益状況に対応した適正な配当維持に努力することを基本方針といたします。また、内部留保を充実し、企業体質の強化と将来の事業展開に備えたいと考えております。

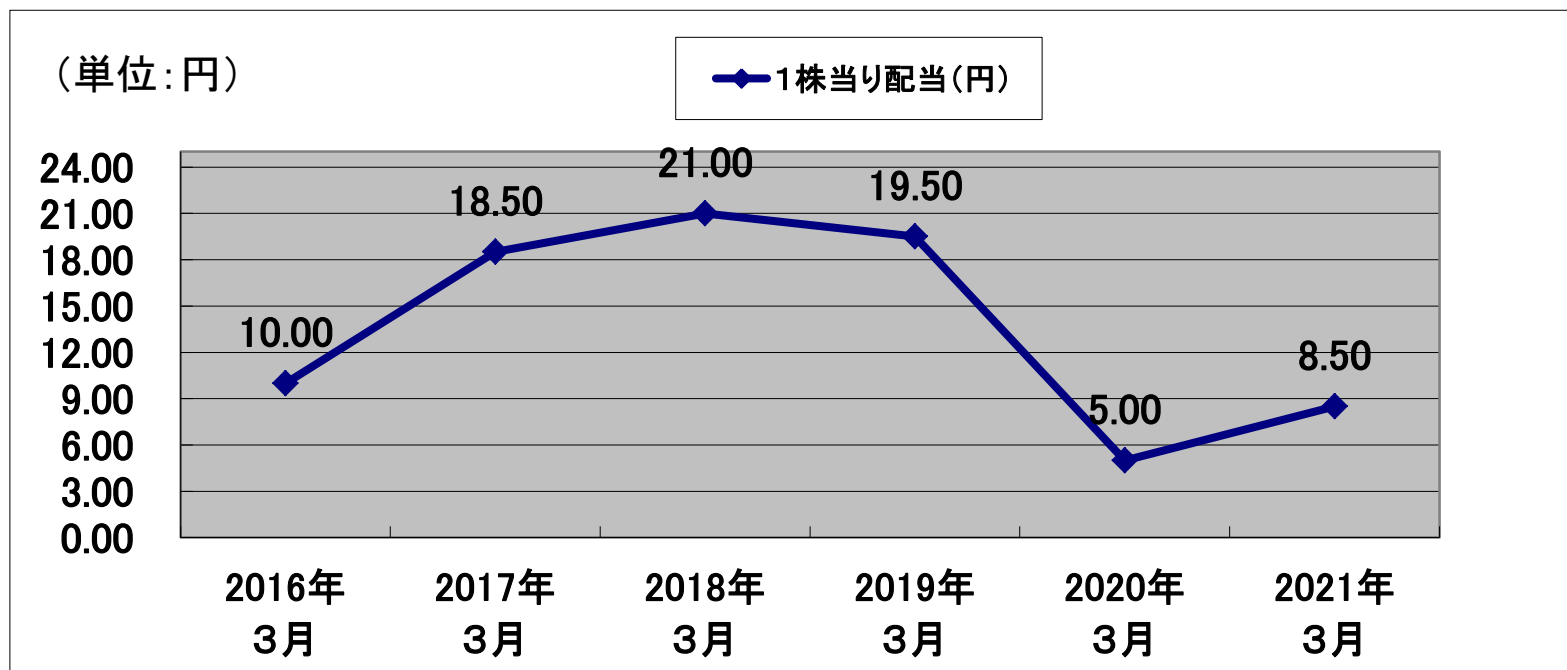
収益状況に対応した適正な配当の指標として

⇒ **連結配当性向年間30%程度を目安とします。**

# 配当金の推移



決算年月	2016年 3月	2017年 3月	2018年 3月	2019年 3月	2020年 3月	2021年 3月
1株当り配当 (円)	10.00	18.50	21.00	19.50	5.00	8.50
(内中間配当額)	(-)	(5.00)	(5.00)	(5.00)	(-)	(-)



## 2. 2021年度業績予想



- ・2021年度の概要 ..... P15
- ・2021年度業績予想 ..... P16

# 2021年度の概要



## ●事業環境

生産量・売上高は増加するものの、主力であるセグメント製品の市場環境の悪化に伴う収益率の低下及び大型プロジェクトの出荷遅れに伴う当期の出荷関連コストの増加等により、増収減益の見込み。

## ●対策

- ・中小を含むセグメント案件を確実に受注する。
- ・土木製品についても市場ニーズに沿った商品の開発・技術提案力の強化に努め、受注拡大を図る。
- ・当社が得意とする大型・特殊製品を設計に織込む専門部署を設置し、技術提案力の強化に取り組む。
- ・徹底的な原価低減を行い収益力向上に努める。
- ・九州地区の事業環境を踏まえた営業戦略と、最適生産体制を構築するとともに、固定費規模のコスト改善の継続的・確実な実行による競争力強化を推進し、福岡工場の収益基盤を確立する。

# 2021年度業績予想



(単位:百万円)

	2020年度		2021年度			前期比	
	実績		業績予想(5/13公表値)			増減額	増減率
	A	比率	第2四半 期(累計)	通期 B	比率	C=B-A	C/A
売上高	30,149	100.0%	14,500	33,500	100.0%	3,351	11.1%
営業利益	1,764	5.9%	500	1,400	4.2%	△ 364	△ 20.6%
経常利益	1,778	5.9%	500	1,400	4.2%	△ 378	△ 21.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	891	3.0%	300	900	2.7%	9	1.0%
配当(円)	8.50	-	未定	未定	-	-	-



# 参考資料



- ・今後予定される主なプロジェクト
- ・ジオスターの地下空間  
セグメント製品  
土木製品

# 今後予定される主なプロジェクト



## 1. リニア中央新幹線

概要：東京と名古屋を結ぶ高速鉄道

区間：品川～名古屋

第一首都圏トンネル：延長約40キロ

- ①北品川工区 : 約10キロ(熊谷JV)
- ②梶ヶ谷工区 : 約12キロ(前田JV)
- ③東百合丘工区 : 約 4キロ(西松JV)
- ④小野路工区 : 約10キロ(安藤・ハザマJV)
- ⑤第二首都圏 : 約 4キロ(未定)

第一中京圏トンネル：延長約22キロ

- ①坂下東工区 : 約 2キロ(未定)
- ②坂下西工区 : 約10キロ(安藤・ハザマJV)
- ③名城工区 : 約 7キロ(前田JV)
- ④風越山工区 : 約 3キロ(大林JV)

完成予定：2027年

## 2.枚方トンネル

概要:新名神高速道路

枚方市域の地下部を通過するシールドトンネル

区間:大阪府枚方市～京都府八幡市

トンネル区間:約4.5キロ

完成予定:2024年

## 3.多摩川トンネル

概要:国道357号東京湾岸道路

東京都大田区羽田空港と川崎市川崎区浮島を結ぶ

道路用シールドトンネル

区間:大田区羽田空港～川崎区浮島

延長:3.4キロ

完成予定:2024年度

#### 4.羽田空港アクセス線

概要:既存の鉄道ネットワークを活用し、羽田空港へのダイレクトアクセスを実現する鉄道

区間:東京貨物ターミナル～羽田空港新駅(仮称)

延長:約5キロ

完成予定:2029年

#### 5.淀川左岸線延伸部

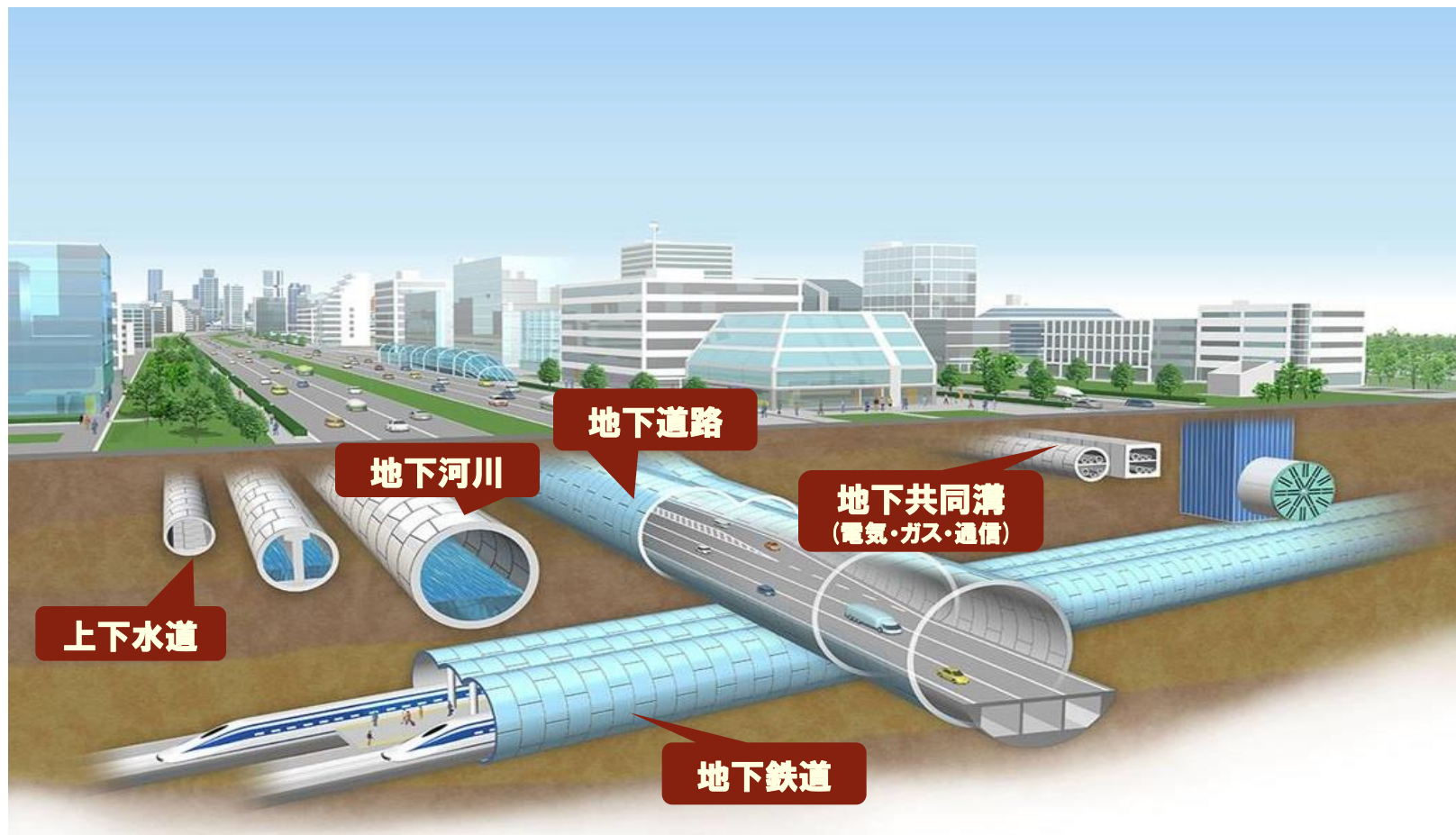
概要:阪神高速2号豊崎出入口から近畿自動車道と第二京阪道路の門真JCTに接続する高速道路計画

区間:豊崎IC～門真JCT

延長:8.7キロ

完成予定:2032年

# ジオスターの地下空間



# セグメント製品



## ●RCセグメント

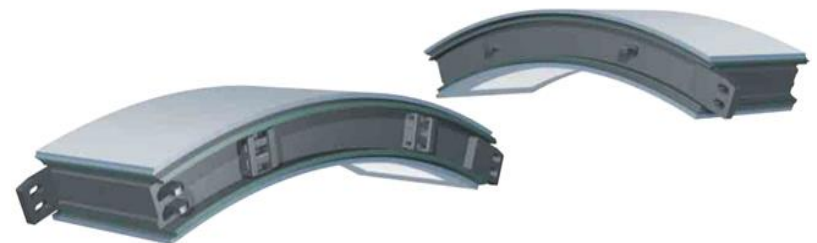


## ●スチールセグメント

## ●CPセグメント

## ●HCCPセグメント

## ●NMセグメント



# 土木製品



# 土木製品



- ボックスカルバート
- アーチカルバート
- L型部材
- 共同溝
- 防潮堤
- モジュラーチ
- ジオウエアボックス
- 矢板
- スラブ





# 新製品(新工法)紹介



## HRC矢板

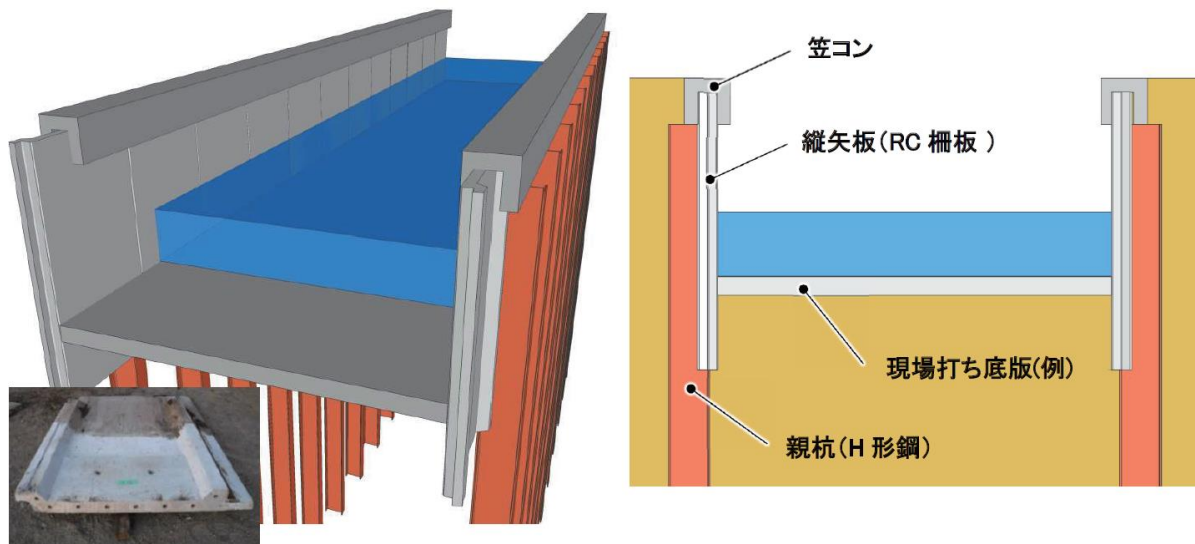
NETIS KT-190109-A

### 特徴

2020年3月16日:NETIS登録

NETISとは  
(新技術情報提供システム)

公共工事等で活用する新技術をまとめたデータベースで、国土交通省が新技術に関する情報を一般に提供し、新技術の活用を推進する目的で運用するシステム。



### 【構造】

- ・ H型鋼の親杭とコンクリート縦矢板の複合構造により土留壁を構築する工法です。
- ・ 道路擁壁で数多くの実績を有する柵板の応用で、経済的な構造を実現します。
- ・ 荷重(土圧)はコンクリート縦矢板/1.5m幅を介して親杭に伝達されます。
- ・ コンクリート縦矢板を地盤に貫入させることで、ボイリングやヒービングを防止します。
- ・ コンクリート縦矢板は親杭(H形鋼)を被覆し、耐久性、景観性・美観性を向上します。

### 【用途】

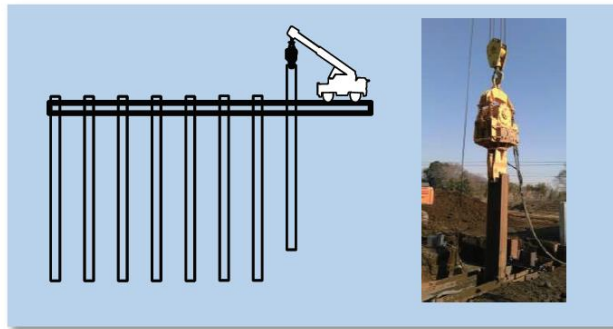
- ・ 水路をはじめ、道路擁壁、調整池等の土留め構造に適用可能です。
  - 設計基準 ・土地改良事業標準設計基準書「水路工」(農林水産省農村振興局)
  - ・災害復旧工事の設計要領(公益社団法人全国防災協会) 他

# 新製品(新工法)紹介

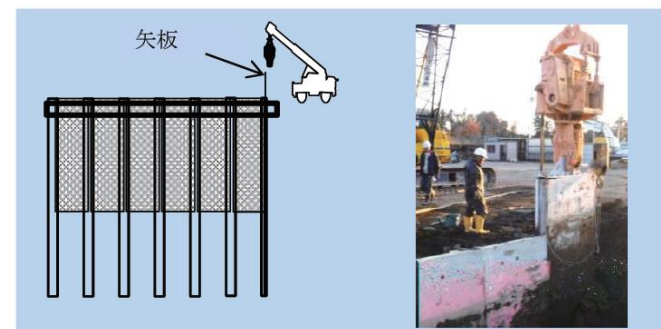


## 施工

1 親杭の打設 (導棒設置後)



2 縦矢板の打設 (親杭との交互打設)



## 経済性

### 【根入れの短縮】

- ・ 曲げ荷重を親杭が受け持つため、縦矢板の根入れを短縮でき、経済性が向上します。

### 【矢板の薄肉化】

- ・ 縦矢板は親杭間で支えられた梁構造となるため、薄肉化できます。  
なお、HRC矢板は製品幅1.5mに拡大しています(従来のRC矢板は1.0m)。

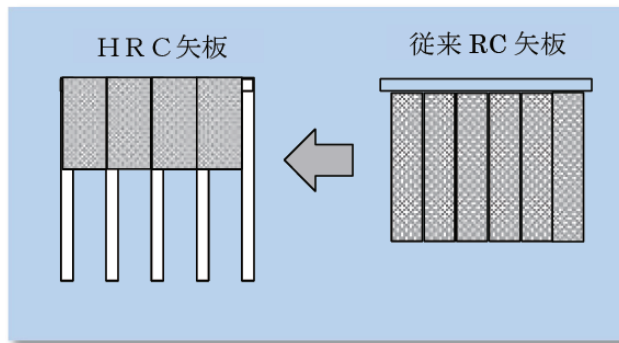
### 【水理特性】

- ・ 粗度係数が小さく、更新工事の場合、既設の矢板を撤去せずに水量を確保できます。

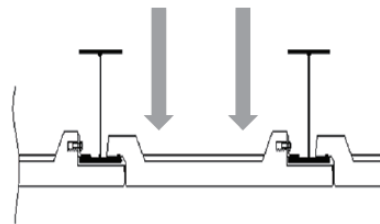
# 新製品(新工法)紹介



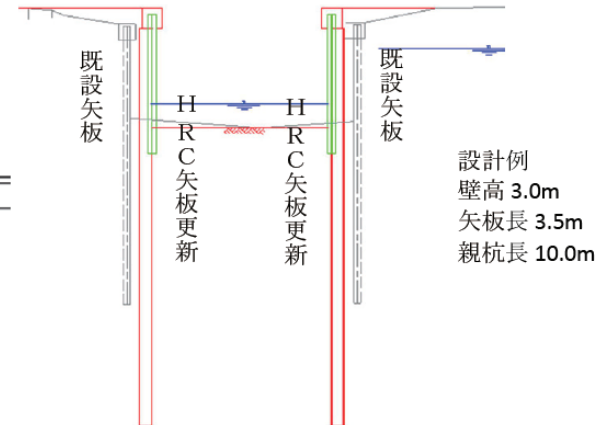
縦矢板の根入れ短縮と広幅化



薄肉の縦矢板



既設護岸の内側に更新



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。